

株主懇談会 資料

当社の概況について

平成19年6月28日

中央電気工業株式会社

目次

. 経営理念	P 1 ~ 2
. 主な事業の動向	
（ 1 ） マンガン合金鉄事業	P 3 ~ 6
（ 2 ） 環境事業	P 7 ~ 9
（ 3 ） 機能材料事業	P 1 0 ~ 1 1
. 業績推移	
（ 1 ） 経常利益推移	P 1 2
（ 2 ） セグメント別業績推移	P 1 3
. 四つの経営方針	P 1 4
最後に	P 1 5

・ 経営理念

法令遵守と社会的モラルを尊重した

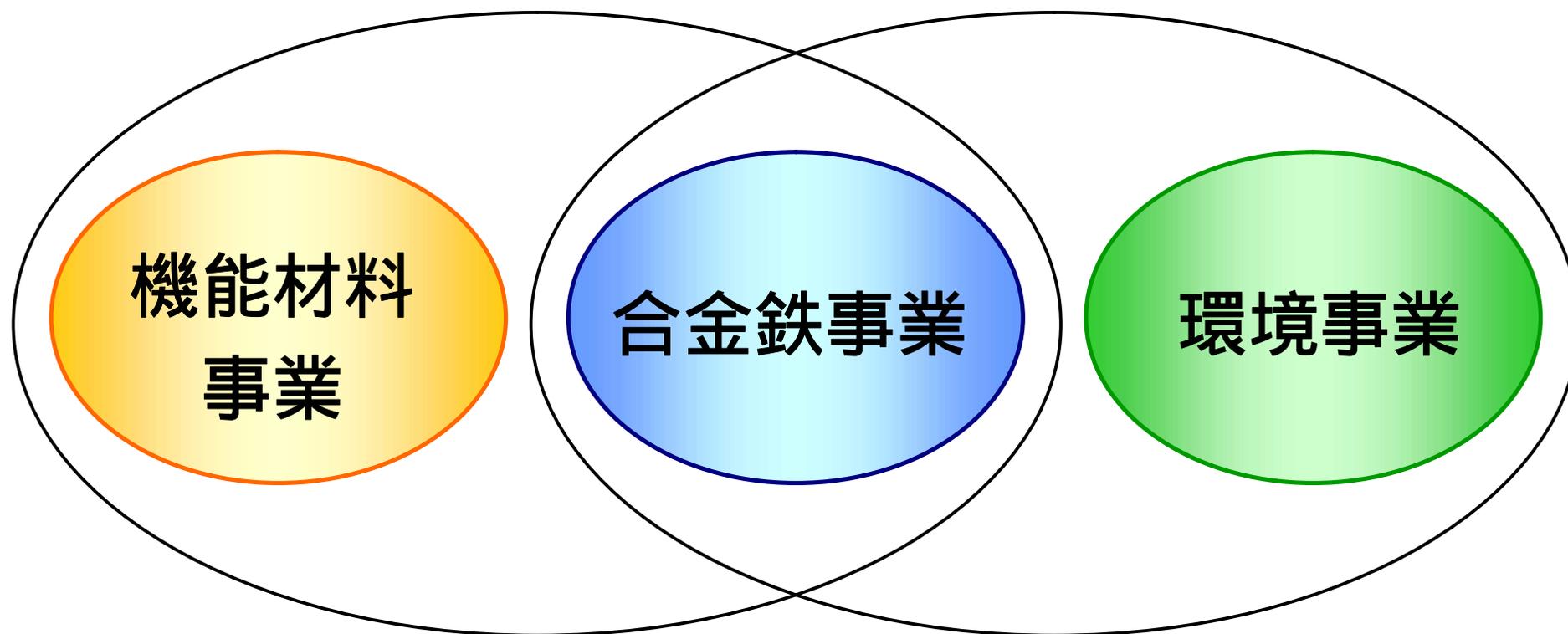
健全な事業活動を通じ

社会の繁栄に貢献するとともに、

ステークホルダーの皆様から

より信頼される企業を目指します。

< 当社の事業領域 >



． 主な事業の動向

（ 1 ） マンガン合金鉄（以下合金鉄）事業 鹿島工場

合金鉄は当社のコア事業。

“市況低迷時でも安定的な収益確保”が目標。

昨年、1号電気炉で大改修を実施。

更に来年には2号電気炉の改修を計画

需要増に対応した設備能力の最適化を図り、
一層の安定稼働とコストの低減を目指す。

需要動向

好調な粗鋼生産に支えられ、高水準な需要が続いている。

価格動向

去年は1年を通じて緩やかに市況が上昇。

足下は更に上昇しているが、潜在的な中国の過剰生産設備能力があり、先行は不透明

図1. 全国粗鋼量

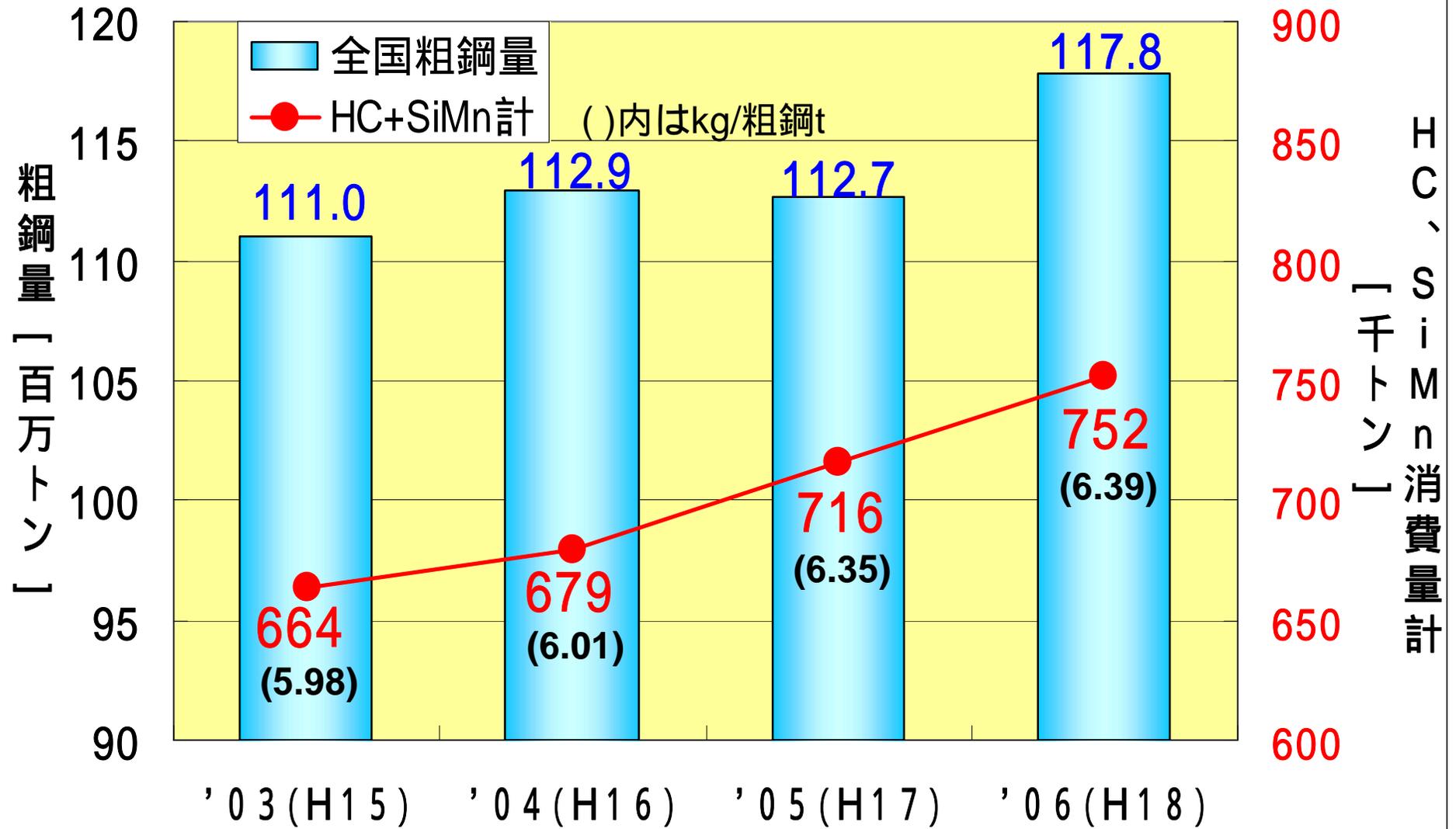
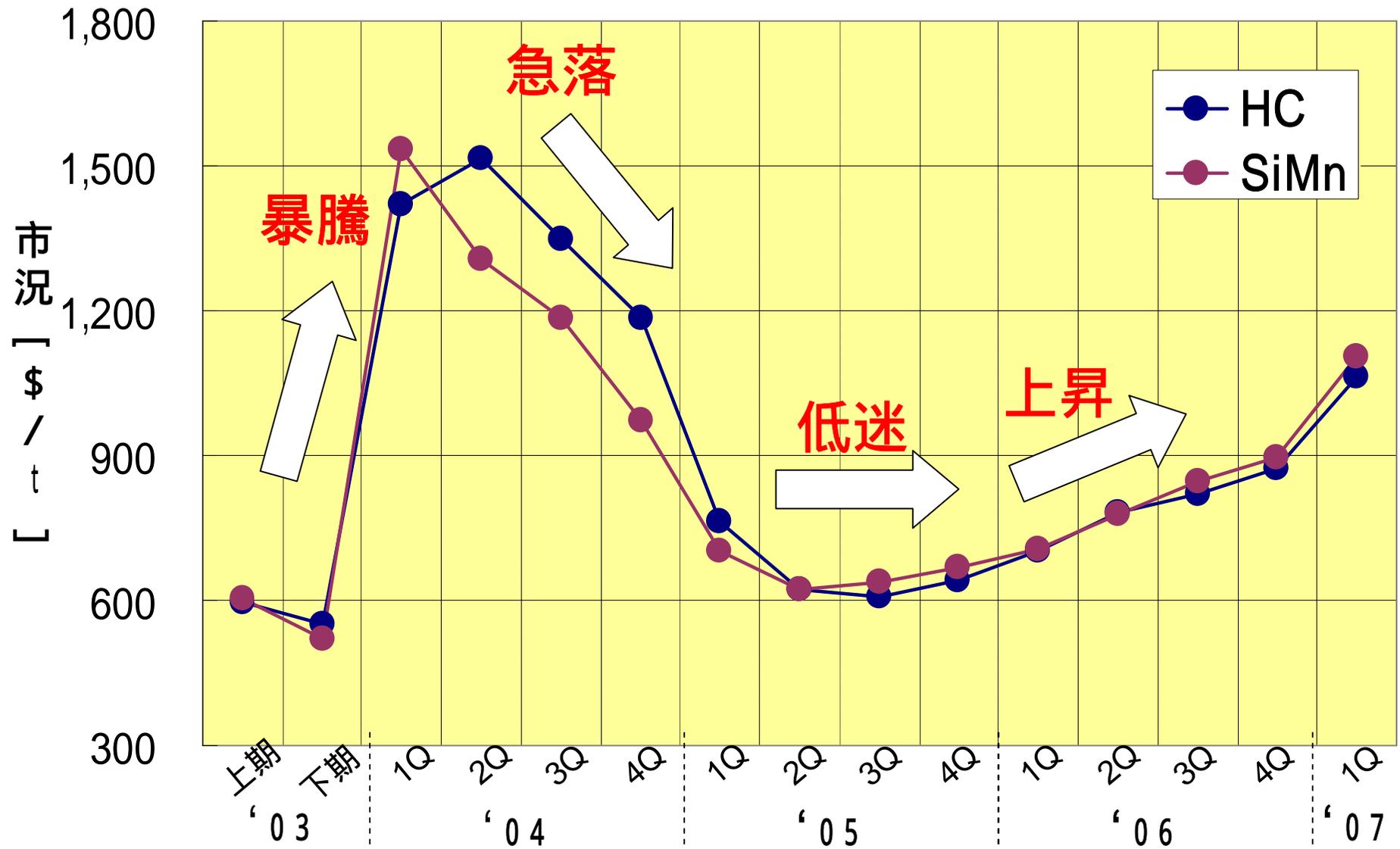


圖2 . 合金鐵市況推移



(2) 環境事業

鹿島工場

平成7年、民間企業として日本で初めて
焼却灰溶融処理を開始。

一般廃棄物焼却灰や産業廃棄物燃え殻は、
社会的に年々その処理が困難に。

土壌や廃石綿の処理ニーズも高まっており、
当社の果たすべき役割は増大。

当初、合金鉄炉活用でスタート後、
専用炉を建設。
『廃棄物溶融リサイクルセンター』に。

年間処理能力は合計6万5千トン。
H17以降、年間約5万トンの処理を
安定的に継続。
H7以来、H19 / 3末で累計25万トン達成。

社会貢献事業、誠実・堅実な運営。

【環境事業(処理対象・施設・能力等)】

		H 7年 ~	H 14年	H 16年	H 17年 ~
処理対象		一般廃棄物焼却灰		→	
		産業廃棄物燃え殻		→	
		土壌		→	
		廃石綿		→	
処理施設	合金炉	1号炉	→		
		2号炉	→		
	専用炉		EM 1	EM 2	→
処理能力 / 年		14千t	40千t	65千t	65千t
処理量 / 年		10千t	26千t	40千t	50千t

(3) 機能材料事業

妙高工場

主力は水素吸蔵合金。

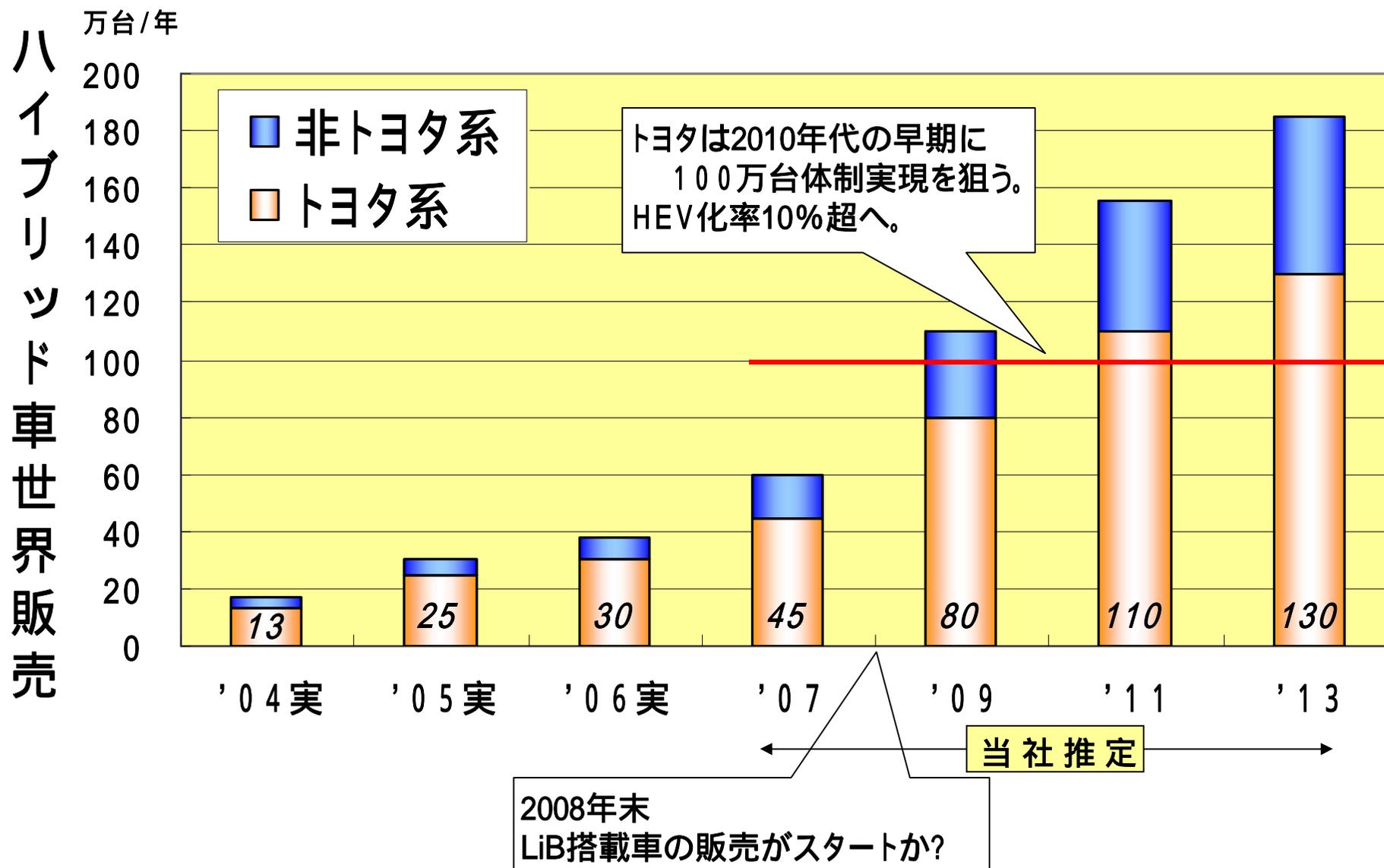
(以下『MH』、ニッケル水素電池の負極材料)

ハイブリッド車用の需要増加はあったものの、民生用は中国との競争が激しく販売量は減少。原料価格が急騰し、一部に販売価格への転嫁遅れが発生。

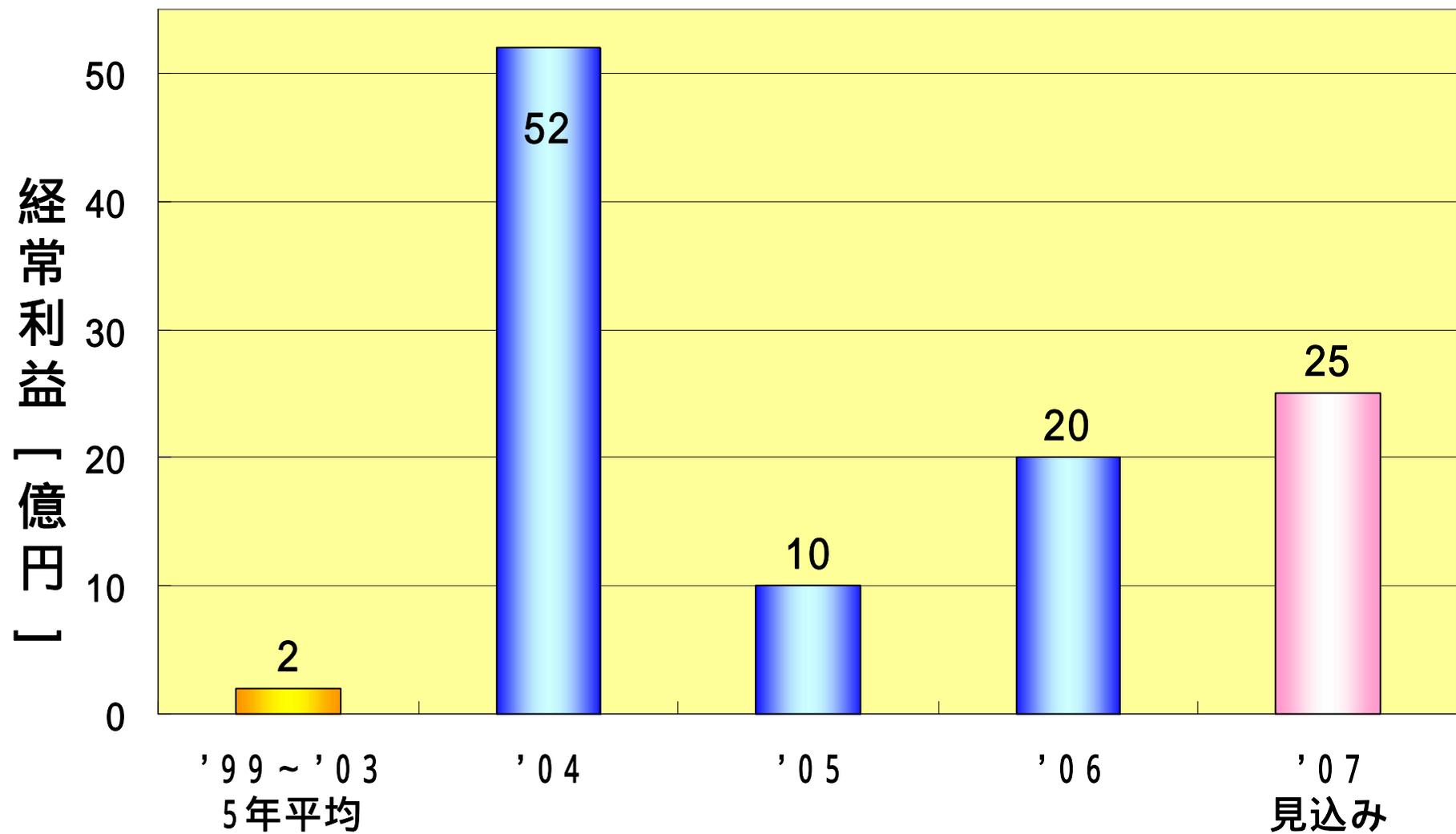
自動車用の比率は3 / 4へ。

更なる自動車向け数量増と合理化等で、早期黒字化を目指す。

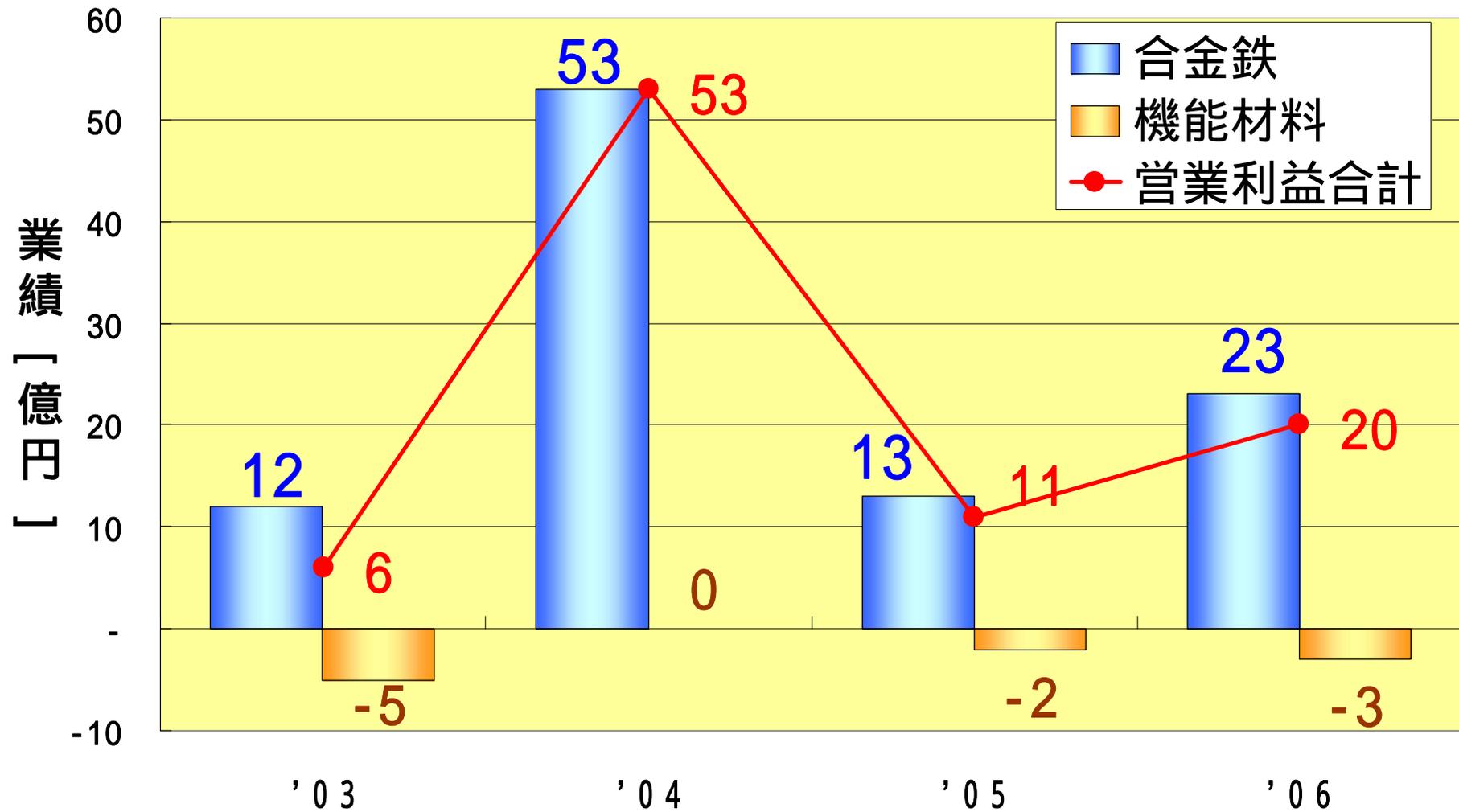
図3. ハイブリッド車販売推移



業績推移 (1) 経常利益推移



(2) セグメント別業績推移 (営業利益)



. 4つの経営方針

(1) 「小さくとも大きな存在感」

歴史ある中電の社員として誇りを持ち、利他精神で頼りとなる存在になろう

(2) 「Lowest Cost Supplier」

他の追従を許さぬコスト競争力を、技術進化により勝ち取ろう

(3) 「他社に勝つ商品・サービス」

開発指向の事業運営により、世界で勝てる独自の
商品・サービスを創造しよう

(4) 「環境指向ビジネス」

次の世代のために、地球環境に貢献する事業の確立を目指そう

最後に

経営の透明性を高める為、
迅速な情報開示に努め、株主の皆様のご期待に沿えるよう取り進めて参ります。

【ホームページアドレス】
<http://www.chu-den.co.jp>

以上